

企画書評価基準

「耐量子計算機暗号 (PQC) 移行に向けた移行計画策定等に関する支援」

株式会社ゆうちょ銀行
サイバーセキュリティ対策部
セキュリティ推進担当

本評価基準については、「耐量子計算機暗号 (PQC) 移行に向けた移行計画策定等に関する支援」の仕様書等に基づいて定めたものであり、評価に当たっては以下により行う。

- 1 評価項目
評価項目は、下表に定める項目する。
- 2 得点配分
得点配分は下表に定めるとおりとし、評価項目について有効な提案が行われた場合は、その内容に応じて最高400点を付与する。
- 3 取引先の決定方法
公募文のとおり。
- 4 評価観点
評価観点は下表に定めるとおりとし、これに基づき加点を与える。

企画書評価基準表

#	評価項目	評価観点	配点
①	実施方法 (耐量子計算機暗号 (PQC) 移行に向けた移行計画策定等に関する支援)	・ 委託内容を十分理解した上で、有効かつ実現可能な企画内容となっているか。 ・ 暗号鍵や署名等の暗号技術に関する現状や課題について適切に理解していること。 ・ PQC 移行にかかる国内外における法令・ガイドライン等の整備状況、金融業界における動向、直近の脅威動向等について知見を有しており、当行の位置づけについて適切に理解し、妥当性の判断ができること。 ・ PQC 移行にあたり、リスク分析/評価や運用整備に向けた対応ができること。	80
②	実施体制	・ 委託業務のスケジュールが明示されており、委託業務の実現性が確認できること。 ・ 委託業務の作業工程に応じて、適切な要員がアサインされていること。	80

#	評価項目	評価観点	配点
③	専門知識	・PQC 移行計画の策定支援への参画経験があり、量子コンピューター及び暗号技術等への専門知見を有するメンバーがアサインされていること。 ・想定される個別の論点毎に、専門知見を有するメンバーによる検討・支援が想定されていること。	80
④	実績	・PQC 移行計画の策定支援の実績を有しており、そのノウハウを委託業務に活用できること。 ・特に金融当局における支援実績や検討会への参画実績があることを評価する。 ・その他、本委託業務の遂行に有用な支援実績を有している場合は評価する。	100
⑤	見積額	・仕様書に定める要件を満たした上で、予算額に対して低廉な提案があった場合、予算額に対する割合に応じて評価する。	40
⑥	その他	・その他、見積額の範囲内において、仕様書等に記載している委託業務の範囲を超えるような提案等がある場合は、その有益性に応じて評価する。	20
	合計		400